

# 生産者通信

(有)エコ・ライス新潟  
定価 100円(送料込)

## 山田錦プロジェクト



### グランプリ2500万円は栃木の生産者

2位1000万円は兵庫県、3位500万円は栃木県

1月17日に帝国ホテルにおいて、「獺祭デザインアワード2019」と「山田錦コンテスト」の授賞式が開催されました。「山田錦コンテスト」には、全国から1次予選を4名の各県を代表する検査員により目隠し検査、順番を入れ替えて5回の審査の結果でした。

栃木県の山田錦研究所に所属する2名が1位、3位に輝きました。合計3000万。

新潟県山田錦協議会からは18の参加を申し込みにましたが、昨年の猛暑の影響から出品を取りやめました。

令和2年産ではぜひ2500万円表彰台をめざしましょう！そしてパリ研修へ。

### 山田錦プロジェクト 2019表彰式について (岩淵 高雄さん)

「はだズレがほとんどない」受賞したグランプリに輝いた山田錦と2位、3位の山田錦との決定的な違いはそこでした。

審査委員長も「コンテストに出すために準備してきた感が否めない」とのこと。しかし、1俵50万円で取引されるかもしれないもので準備を怠る生産者は居ない訳で：

グランプリの山田錦を生産した栃木県の坂内さんになんとか話を聞いてみたところ、「網目は2・2でグレード別の選別を最適選別から少し落とした。そして色選に人を雇って入れた」とのこと。色選に人を入れる？ということは「ラインを組まず色選を何回か通し、はだズレの問題があるから昇降機を使

旭酒造(株)  
ホームページより  
<https://www.asahishuzo.ne.jp/>

### 歳元日記【山田錦プロジェクト結果報告】

昨年8月のメルマガでお知らせいたしました山田錦プロジェクト、結果が出まして、去る

1月23日に東京の帝国ホテルに於きまして、審査委員長の弘兼先生や予選通過の農家の皆さんにご参加いただき、結果発表と表彰式を行いましたのでご報告申し上げます。

「最高を超える山田錦」をキャッチフレーズに始まりましたこのプロジェクト、実際のエントリーは47の個人及び団体でした。まず、1kgづつ送ってもらって、それを対象に昨年の12月19日に予選審査を行いました。その結果、上位9点が選ばれました。今度はその9件の出品者に実際の全数50俵を送ってもらい、その9点を対象にこの1月16日に決勝審査を開きました。

結果は一位と三位を栽培し始めて6年しか経っていない栃木の山田錦が占め、二位に伝統の兵庫が入るというものでした。実は主産地で山田錦の品質では定評のある兵庫県勢が苦戦するだろうというのはなんとなく想像していました。どうしても、こういう時、守りに入る方が弱いからです。新興というか栽培の歴史が浅い方が、ある意味何でもできるし、しかも基本に忠実というもあります。

ところが、ふたを開けてみると、まず予選の段階で優勝候補だった岡山がまさかの予選欠場。トップを狙うあまりやりすぎて、ある意味、無理をし過ぎてしまったんですね。岡山の皆さんは本当に悔しそうでした。

そんなことで、広島・兵庫・栃木・鳥取・山口の計9点で決勝審査を行いました。いずれ劣らぬ米ばかりですから審査は難航しました。結局3度の再審査をやり、やっと決定いたしました。結果は弊社のホームページをご覧くださいと思います。  
[https://www.asahishuzo.ne.jp/info/information/item\\_3085.html](https://www.asahishuzo.ne.jp/info/information/item_3085.html)

最後にご報告したいのは、その過程で改めて感じた兵庫県山田錦の優秀性。すべての要素をある程度平均して良い点数を取る方がコンテストでは有利なのですが、その意味では新興性の優等生山田錦と比べると「ちょっと難あり」なんです。しかし、こと、粒張りと心白の入りを見ると群を抜いて優れています。やはり兵庫県産山田錦の凄みは十分に感じさせてくれた今年のコンテストでした。

来年もやります。ぜひ、農家の皆様のさらなる挑戦を期待します。

わがずには選別したのか？」と聞いたので、「いやいや」と言葉

授賞式に出る米を見

た感想は決して超えら

れない品質ではない！実

際審査基準の整粒歩合

99%、心白80%以

上に満たした米は令和

元年産ではなかったと

のことです。

令和2年産は新潟県

山田錦協議会からグラ

ンプリ、いや1位から

3位を独占するべく一

丸となつて、よりいい

米をつくらうと皆で頑

張つていきましよう。